

- 代：成熟都市のシナリオ』千里文化財団，1998年9月
4. 「大久保・藤崎地区」『平成10年度習志野市民俗資料調査報告書』習志野市教育委員会，1999年3月
  5. 「“娯楽の殿堂”の軌跡：高度経済成長期における東京郊外の遊楽空間」成田孝三（編）『大都市圏研究（下）』大明堂，1999年3月
  6. 「地理学がよくわかるキーワード50」『AERAムック：地理学がわかる』朝日新聞社，1999年4月
  7. 「地理学を楽しむための50冊」『AERAムック：地理学がわかる』朝日新聞社，1999年4月 [話したこと] (1998年度)
1. 「都市の新しい祭り」と民俗学：高知「よさこい祭り」を手掛かりに」日本民俗学会年会第50回記念シンポジウム，1998年10月（仏教大学）
  2. 「高度経済成長期とその直前における東京郊外の遊楽空間：谷津遊園と船橋ヘルスセンター」1998年度人文地理学会大会（一般発表），1998年11月（京都大学）
  3. 「都市祝祭と都市社会のゆくえ：高知「よさこい祭り」新・四国平成義塾98／踊りから躍りへ：踊りからみる四国未来像（四国4新聞社主催シンポジウム），1998年11月（徳島プリンスホテル）
  4. 「レジャーランドの物語」現代風俗研究会東京の会例会，1998年12月（日本女子大学）

#### 影山穂波

[論文]

- 「ジェンダーの視点から見た港北ニュータウンにおける居住空間の形成」地理学評論，71，pp. 639-660，1998.
- 「地域活動にみるジェンダー構造：港北ニュータウンの事例から」地理43（12），pp.47-53，1998.

#### 石川百合子

[学術論文]

1. Yuriko Ishikawa, Kenichiro Yoshimura, Atsuko Mori and Hiroshi Hara (1998) : High sulfate and nitrate concentrations in precipitation at Nagasaki impacted by long-distant and local sources, *Atmospheric Environment*, 32, 2939-2945.

2. 石川百合子，大野卓也，大山準一，小川完，原宏（1998）：綾里における1976～1994年の降水の酸性化，*天気*，45，351－360.

[口頭発表]

1. 石川百合子：1913年から1940年の西ヶ原における酸性雨成分の湿性沈着量の推定，日本地理学会春季学術大会，東京，1998年3月.
2. 石川百合子：降水中の非海塩性硫酸イオン濃度の算出に関する一考察，日本地理学会秋季学術大会，札幌，1998年9月.
3. 石川百合子：西ヶ原農事試験場における1913－1940年の降水分析データから推定した酸性雨成分の湿性沈着量について，気象談話会，つくば，1998年11月.

#### 編集後記

◇お茶の水地理学会の主要なメンバーは、地理学科OGです。彼女たちの多くは、研究以外の場で活躍しています。その読者に向かって、学術論文がメインとなる『お茶の水地理』を発信することに、私は抵抗があります。OGの手（編集）による、年1回の同窓会雑誌（文集）にリニューアルしたほうが良いのではないかと考えます。

◇にもかかわらず、従来の路線で本号を作ることができました。「年1回、学術論文を読むのも楽しいものよ」と励まして下さるOGや、力作を寄稿して下さった方のお陰です。

◇本号は、千歳教授のご退官記念号であると同時に、第40号という節目の会誌です。『お茶の水地理』の将来に、OGの皆さんにも積極的に関わっていただきたいと思います。

◇なお、学会がきわめて厳しい財政状況にあるため、編集方針を変えました。ひとつは、編集（一部）・印刷を開成出版という出版社に委託し、効率の良い雑誌作りを試みました。もうひとつは、FD（フロッピーディスク）での入稿を原則としたことです。これらにより、コストをできるだけ抑さえ、合理的な編集ができたと自負しています。ご無理をお願いした執筆者と開成出版編集部の黒田武さんに、心からお礼申し上げます。（内田）

本号編集：内田忠賢・水野勲